



## 空の ホエールウォッチング

空に鯨が一。機体に鯨の絵を描いた「マリンジャンボジュニア (B767-300)」が12月12日、初めて高知空港に就航。この日は前もって公募していた小・中学生ら288人が足摺岬から夜須町間を体験フライトしたほか、機内の一般公開も行われました。

空港は、「空飛ぶ鯨」を一目見ようと詰めかけた親子連れらでいっぱい。子供たちは「すごい！ほんまに飛行機が鯨になっちゃうっ」と、一足早いクリスマスプレゼントに大喜びでした。



## お母さんと いっしょ

高知県保有所保護者会連合会(畑野弘靖会長)が主催して「県ほいくまつり」が11月28日、巨峰園で行われ、約2千人の親子連れでにぎわいました。

29回を迎える今回、会場が高知市から初めて南国市に。父母や市内16園の保母さんらによる模擬店やサッカーゲーム、ウナギのつかみ取りなどが行われ、思い思いに交流を深めました。



## みんな仲良く

12月4日から10日までは全国人権週間。その啓発活動として6日、高知地方法務局と県人権擁護委員連合会から11人が同豊保育所を訪問しました。

擁護委員さんは「お友達やみんなと仲良くしましょうね」と人権について分かりやすく説明した後、園児全員に風船や、世界人権宣言についてのパンフレットなどをプレゼントしました。

## ひやいときは 鍋やねえ

11月20日に、南国市商工会(吉村雅男会長)主催の「商工感謝祭」が大橋の土曜市広場で行われました。



今回は「不景気を吹き飛ばそう」という意味を込めて、シャモ鍋の無料配布を企画。この日は香美郡野市町の酒造会社から借りた直径と高さが約2m、重さ約1tの大きがまで、約5千人分のシャモ鍋が作られました。

中には2杯、3杯とおかわりする人も、寒空の下、大勢の市民らが集まり、大盛況でした。

## 先生も勉強 !?



南国市教育研究所、同豊小学校などの主催で「生活科・社会科授業研究発表会」が12月9日に同豊小学校で開かれ、教諭ら約200人が参加しました。



同校は平成5年度の「南国市環境教育推進校」。生活科と社会科を研究教科とし、特に子供たちの身近な環境を意識した教材に精力的に取り組んできました。

この日は「感動を大切に、学ぶ力を育てる生活科・社会科指導のあり方」をテーマに、全学年の公開授業や愛知教育大学の有田和正教授の模範授業などが行われ、参加者たちはペンを片手に、熱心に耳を傾けていました。



「文化の森を育てる会」のメンバー、池本都さんが11月23日、南国市役所を訪問。「少しですが、文化ホール建設に使ってください」と、大町市長に3万円を寄付しました。

池本さんは、家族と友人ら9人で「南国まほろば一座」を結成し、7日、野市町で開かれた「楽人ちんどんコンクール」に出場。敢闘賞を受け、その賞金を寄付した。

この寄付金は文化ホール建設資金として、今後役立てられます。



## お年寄り を大切に

シルバーキャラバン隊による「高齢者を犯罪と交通事故から守る」キャンペーンが12月3日、市民体育館で行われ、65歳以上のお年寄り約300人が参加しました。

高知県は島根県に続く高齢者県。悪質商法と交通事故の被害者にお年寄りが多い現在、その対策の一環として、県や県警察などが県下一巡キャンペーンを計画。

シルバーキャラバン隊は県と警察本部の職員ら約55人で結成。

防犯映画や交通安全講話、警察音楽隊の演奏などが行われ、参加者たちはそれぞれの意識を高めました。

